

平成二三年度大学院人文科学府修士課程第一期試験問題

(東洋史学)

◎以下のA、Bの問のうちより、いずれか一問を選び解答せよ。

(解答は解答紙に)

問A

問I 次の1、2の問のうちより、いずれか一問を選び解答せよ。

- 1 魏晋南北朝・隋唐期における仏教の展開について概述せよ。
- 2 中国における浄土教の展開について概述せよ。

問II 次の各用語を簡単に説明せよ。

- ①末法
- ②則天武后
- ③沙門統
- ④智顛
- ⑤沙門不敬王者論
- ⑥慧遠
- ⑦観無量寿経
- ⑧円仁
- ⑨玄奘
- ⑩塚本善隆

問III 次の文章を書き下し文とせよ。

浮屠正號曰佛陀。佛陀與浮圖聲相近、皆西方言、其來轉為二音。華言譯之則謂淨覺、言滅穢成明、道為聖悟。凡其經旨、大抵言生生之類、皆因行業而起。有過去、當今、未來、歷三世、識神常不滅。凡為善惡、必有報應。漸積勝業、陶冶粗鄙、經無數形、澡練神明、乃致無生而得佛道。其間階次心行、等級非一、皆緣淺以至深、藉微而為著。率在於積仁順、蠲嗜慾、習虛靜而神通照也。故其始修心則依佛、法、僧、謂之三歸。若君子之三畏也。又有五戒、去殺盜淫妄言飲酒、大意與仁義禮智信同、名為異耳。云奉持之、則生天人勝處、虧犯則墜鬼畜諸苦。又善惡生處、凡有六道焉。諸服其道者、則剃落鬚髮、釋果辭家、結師資、遵律度、相與和居、治心修淨、行乞以自給。謂之沙門、或曰桑門。亦聲相近、總謂之僧、皆胡言也。僧、譯為和命衆、桑門為息心、比丘為行乞。俗人之信憑道法者、男曰優婆塞、女曰優婆夷。其為沙門者、初修十誡、曰沙彌、而終於二百五十、則具足成大僧。

(『魏書』卷一一四釈老志より)

問 B

問 I 一〇〇—一三世紀の東ユーラシア世界における国際関係の研究動向とその展望について、宋と西夏の関係を中心に概述せよ。

問 II 次の各用語を簡単に説明せよ。

- ① 劉豫
- ② ハラホト
- ③ 范仲淹
- ④ 岡崎精郎
- ⑤ 耶律堯骨
- ⑥ 慶曆和議
- ⑦ 李恒
- ⑧ 西田龍雄
- ⑨ 拓跋思恭
- ⑩ 天盛改旧新定律令

問 III 次の史料を書き下した上で、日本語訳せよ。日本語訳に際しては、固有名詞に（ ）を付して（ ）内に簡単な説明を施すこと。

明年正月、詔諸路入討、仲淹曰、正月塞外大寒、我師暴露、不如俟春深入、賊馬瘦人饑、勢易制也。況邊備漸修、師出有紀、賊雖猖獗、固已懼其氣矣。鄙・延密邈靈・夏、西羌必由之地也。第按兵不動、以觀其變、許臣稍以恩信招來之。不然、情意阻絕、臣恐偃兵無期矣。若臣策不效、當舉兵先取綏・宥、據要害、屯兵營田、爲持久計、則茶山・橫山之民、必挈族來歸矣。拓疆禦寇、策之上也。帝皆用其議。仲淹又請修承平・永平等砦、稍招還流亡、定堡障、通斥候、城十二砦、於是羌漢之民、相踵歸業。

久之、元昊歸陷將高延德、因與仲淹約和、仲淹爲書戒諭之。會任福敗於好水川、元昊答書語不遜、仲淹對來使焚之。大臣以爲不當輒通書、又不當輒焚之、宋庠請斬仲淹、帝不聽。降本曹員外郎・知耀州、徙慶州、遷左司郎中、爲環慶路經略安撫・緣邊招討使。初、元昊反、陰誘屬羌爲助、而環慶酋長六百餘人、約爲鄉道、事尋露。仲淹以其反復不常也、至部即奏行邊、以詔書犒賞諸羌、閱其人馬、爲立條約。

〔宋史〕卷三一四范仲淹傳より